

ネットデイってなに?

地域の人々と学校の教師や子どもたちが力を合わせて校内の情報ネットワーク(LAN)を自分たちで構築することです。ネットデイをすることで普通教室や図書館など、どこからでも情報の共有やインターネットの利用が可能になります。

ネットデイの流れ

コンセンサス 準備



3ヶ月前



配線経路決定



1ヶ月前



全体説明



工事



開通式 祝



準備

- 学校決定
- 教職員や保護者・地域の人々とネットデイの実施に向けて同意を得る
- 実行委員会を発足
- 全体を統括するコーディネータとなる人を決定

- 必ず現場で確認しながら進める
- 学校の図面を広げ配線経路を選ぶ
- 建物に負担をかけない配線ルートを選択
- 部材の調達・講習会の実施
- 将来を見据えたネットワーク設計が必要

当日

- 事前のワークショップで参加者が共通認識を持つ
- 仕事の洗い出しと適切な役割分担
- 保険に加入
- 参加者全員でネットデイの意義を確認

- 必要な部材と人材を適正に配置
- 安全な工事進行のノウハウを共有
- 工事全体の状況を俯瞰する機能を用意
- 各班が判断し工事を行う

- 達成感を参加者みんなで共有
- 図面・記録等のファイルを設置者側に渡す
- その後の継続的な支援や地域と学校が一体となる活動へ

ネットデイのメリット

学校にとって



- 地域の人材データベースができる
- 教職員全体の情報スキルアップになる
- 自主性を持った学校運営をスタートできる
- 開かれた学校運営のきっかけとなる

子どもたちにとって



- 子どもの出番があり、子ども自身が役割を果たすことで、やりがいを実感できる
- 自分たちの学校を、自分たちで作るという貴重な体験となる
- 「コンピュータってどうやってつながるの?」情報ネットワークについて体験できる
- 学校だけでは会えない、さまざまな世代や仕事をしている人たちと交流できる

ボランティアや地域にとって



- 学校(地域社会)に貢献したい人が場を得られる
- コミュニティの絆が深まる(災害時に有効)
- 参加した人が情報ネットワークの知識を得ることができる
- ボランティア意識が向上し、市民活動が活発になるきっかけとなる

父さん母さんにとって

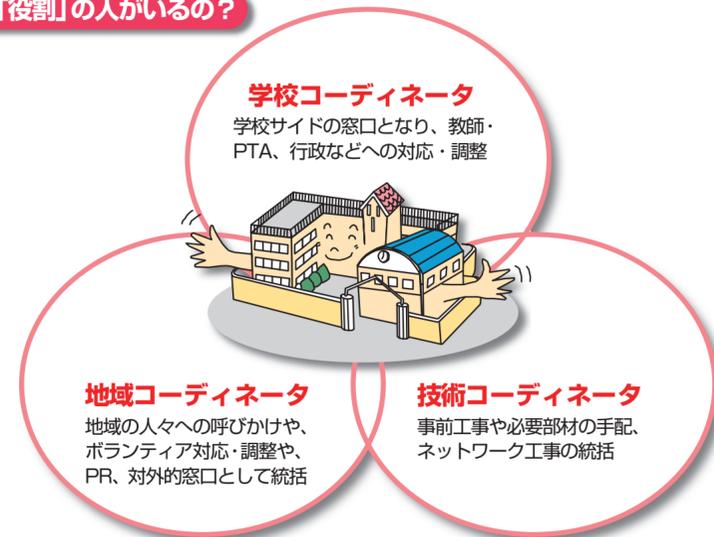


- 子どもや先生のいつもと違う面を発見できる
- 父親や母親の役ではなく、ひとりの人間として社会参加できる
- 子どもに仕事をしている姿を見せることができる
- 家族の話題が増える

ネットデイってどうしたらできるの?

- 1 「ネットデイをしたい!」と学校が意思表示をする
- 2 「ネットデイ実行委員会」をつくり、核になる人がコーディネータ役をする
- 3 ネットデイを学校や地域にPRしながら計画をみんなで進めていく

どんな「役割」の人がいるの?



どんな準備がいるの?

脚立やメジャーなどいろいろありますが……たとえば配線する人はこんな工具を身につけています



「いくら」かかるの?

おおよそ
教室数×1~3万円
*配線部材費のみ、金額は条件によってかわります

成功の秘訣

- ネットデイは、「こうでなきゃならない」とことはない
- 未来志向の人や多様な地域の人をメンバーに誘う
- 実行委員会をつくり、すべての窓口になる
- 班や役割分担を決めておく
- ネットデイ後の「支援の仕組み」を確立しよう
- 正確に検査をし「図面」を作った必ず残す

このパンフレットは、ひとりでも多くの方にネットデイを知っていただくためにつくりました。パンフレットをいっぱい広げ、学校や公民館、町の掲示板に貼ってください。私たちみんなで、子どもたちと一緒に、よりよい未来環境をつくりましょう!

- ネットデイ最新情報
- 全国ネットデイ予定カレンダー
- ネットデイのことなら……

<http://www.netday.gr.jp/>

新しい学習環境の整備に関する調査研究委員会
～ネットデイで実現する校内LAN～

発行日 平成13年3月15日
著作 新しい学習環境の整備に関する調査研究委員会
発行 社団法人 日本教育工学振興会 (JAPET)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1
TEL: 03-5251-0751 FAX: 03-5251-0752

サポート: 文部科学省
構成・デザイン: 鈴木敏恵、畑井克彦